

問 題 文

後にある【資料1】、【資料2】を読んだ上で、下記の設問に答えなさい。

問1：【資料1】の下線部①～④のカタカナを漢字に直しなさい。

問2：下線部aの政策を40字以内で説明しなさい。

問3：空欄(A)について、資料原文では「限界集落」に陥った集落の説明と、その帰結について述べられています。では、限界集落になった集落ではどのような問題が発生するのか、そしてそのような集落が最終的に消滅した結果、どのような事態が想定されるのかを150字以内で説明しなさい。

問4：【資料1】の内容を200字以内で要約しなさい。

問5：【資料2】では、米作の外部性や農村社会の持続性を重視する観点から、農村に対して補助金などを通じた支援の必要性が強調されています。今後の日本における農業支援のあり方を考える上で、補助金による米作支援を強化すべきか、それとも市場原理を尊重して財政的な支援を控えるべきか、300字以内で自由に論じなさい。

【資料1】

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

出典：吉見俊哉「ポスト戦後社会：シリーズ日本近現代史⑨」（岩波書店、2009年）、143-146ページを一部
改変。

【資料2】

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

3

出典：伊庭治彦「米作と「社会的通正米価」：外部性と農村社会の持続」『現代思想』、2025年9月号、(青土社、2025年)、43-44ページを一部改変。

4